

議会報告会 記録(概要) 報告書 (民生教育班)

開催日時	令和7年11月4日 (火) 午後1時30分 ~ 3時30分			
開催場所	日光市役所本庁舎 4階委員会室			
班 員	亀井 崇幸(班長)	斎藤 久幸	福田 悦子	齊藤 正三
	山越 享太郎(副班長)	斎藤 宏明	荒川 礼子	和田 公伸
参加者団体・人数	参加団体: 民生・児童委員 人数: 12名			
意見交換テーマ	民生児童委員が感じる現状と課題について			
意見・課題など		会議の中で出た解決方法など		
<p>高齢者の問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民年金の一人暮らしの方が移送サービスを喜んでいてデマンドタクシーを使わなくなった。月4回送り迎えをしてくれる。 ・デマンドバス利用がしづらい。 ・高齢者向けの移送手段を提案しているが中々伝わらない。 ・ゴミステーションが無い地区はゴミのネットやカゴなどを出すのに苦労している。コンテナの設置も高齢者地域は大変である。 ・車イスの女性の方ですが民生委員の私が行くと喜んでくれた。 ・地域に店等がなくなってしまったため、高齢者の買い物支援が課題。 ・若い人がいないため民生委員の後継者問題。 ・高齢者の一人暮らしが増えており、さまざまな問題が生じている。 ・包括支援センターの職員は頑張っている。 ・病院まで行く交通手段が充実していないため、在宅医療にも力を注いでほしい。 ・紙おむつの配布基準を見直してほしい。 		<p>議員各自がこの問題を精査し、今後の議員活動において、委員会や一般質問で取り上げることによって、諸問題を解決していく方向となった</p>		
<p>子ども家庭の問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後は、放課後残れる場所が無くなったと思う。 ・外国人の子ども達とのコミュニケーションが取れていない。特に学校に行っていない子ども達がどうしていいかわからない。親も言葉の問題や環境に対しての対応ができない為、社会生活が成り立っていない。子ども達まで目がおいついていない現状がある。ゴミの出し方については、市役所に行って英語版をもらってきて対応している。今後、市の広報で外国版(英語)が必要になると思うので対応してほしい。様々な事(ゴミや医療に関して)も伝えないといけないと思う。 ・幼稚園や学校の受入に関して外国人の子どもも対応が必要になる。 ・外国人が広報紙を見ても漢字が読めないなのでボランティアで広報紙の内容をテープに収めて外国人に聞かせて理解して頂いている。 ・外国人の子ども達は対応力が素晴らしく親が理解できない事を子ども達が親に教えて親に理解してもらっている家庭も多い。小学校に子どもが通うまでが大変である。 ・お金が掛かる学童に通えない子どもも多くいる話は聞く。 ・子どもの言葉づかいも問題になっている。 ・学童の費用も大変である。そのような費用がかからない居場所も必要である。 ・地域のまちづくり協議会にも色々提案している。 ・外国人が増加し、赤ちゃんがいる家庭に訪問し相談にのっている。 ・小中学生が朝食を食べて来ないため、鬼怒川地区において、朝カフェを開設し、パン等を提供している。 ・不登校の対応依頼が多くなってきている。 				
<p>生活困窮者支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの男性で身内もおらずお金もない状態で中々自分から言えず、近所の方が連絡してくれた。 ・外国人の方も増えてきて心配な部分もあるし、コミュニケーションの取り方も日本語と外国語での対話の不安もある。 ・一人暮らしでタバコを吸っているので火事にならないかと近所の方が心配している。 ・生活困窮者が民生委員のところにお金を借りに来る。 ・単身者が増加している。 ・いわゆるニートが増えており、今後は課題になる。 				
<p>班としての総括として、民生児童委員の方々の苦労は計り知れないものであり、さまざまな問題を抱えていることがわかった。今後は、議員各自が上記の問題の一つ一つを精査し、問題意識をもって、これからの議員活動において、委員会や一般質問、執行部との会話の中で取り上げることにより、これらの諸問題を解決していく所存である。</p>				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 7年 12月 17日

班長 亀井崇幸